

NPO法人ふわり

～愛fesを通して～

ドーナツ型からスパイラル型へ・・・

活動先の紹介

NPO法人ふわり 代表：戸枝陽基

社会的mission～インクルージョン・スパイラル～

- どのような支援があれば、「生きにくさを抱える人」が、一人の市民として社会参加し、生きがいを持って、自己実現に向けた生活をつづけることができるのでしょうか。
- どのような支援があれば、「生きにくさを抱える人」の家族が、ゆとりを感じ自分の人生を楽しみ、互いに愛し合うことができるのでしょうか。
- どのような支援があれば、この街が、「生きにくさを抱える人」もかけがえのない存在であることを受け止め、共に生きる街になるのでしょうか。

ふわりの事業内容

平成20年、NPO法人ふわりは、普通の暮らしを全国に広げるための研修・広報・研究・イベント・福祉事業所の事業展開を支援するコンサルタントなどの各事業を実施する団体として、再稼働し始めました！

『愛fes』について

参加者は入場協力金として「**ファンドレイジング・シール**」を購入することで、イベントを楽しめるだけでなく、自らが共感したNPOに寄付投票をすることができる。

票を得たNPOにはその獲得数に応じ協力金が「**ファンドレイジング（資金調達）**」される。

この仕組みがこのイベントの最大の特徴。

寄付投票により分配された活動資金でNPOの活動はさらに活発になり、地域に還元される。そんな資金循環を目指す！

当初の活動目的、目標

- NPO団体の活動を多くの人へ知ってもらうために、元気よく笑顔でみなさんと触れ合い、イベント自体を楽しみながら活動したい！
- 情報宣伝
愛fes自体の情報宣伝も含め、当日ふわりグループが出店する飲食ブースでの、看板やチラシなどを使った情報宣伝がしたい！

自分たちの活動内容

砥石 知佳

半田愛フェス～映画担当～

映画のチケット販売、管理、現金管理
チケット郵送、当日に関する資料作り
電話対応、メール対応

竹内 夕理

半田愛フェス～フード担当～

フード出店の施設との連絡仲介役
リサイクル食器の施設からの申し込みの集計及び発注
フードエリア出店施設の事前会議準備
イベントコンサルタントさんとフード出店施設の仲介役
移動販売車講習会準備・進行
イベント当日売上表管理
事後振り返り会議準備

安井 友貴

半田愛フェス～音楽・ダンス・展示担当～

音楽・ダンス部門出場者、NPO団体との連絡調整、
音楽・ダンスコンテストに向けた資料等の作成、
当日の駐車場案内等のビラ作り、
会場飾りつけ準備、業者との打ち合わせ

中村 美沙紀

半田愛フェス～広報担当～

愛フェス通信の作成
情報収集
愛フェス通信の発信

半田愛フェス、本愛フェス

当日～みんなて活動したこと～

会場準備、本部対応、フードエリア手伝い
ふわりブース、抽選受付、スタンプラリー
飲食チケット販売、クロッチグッズ販売
宣伝活動、金銭管理、会場片付け
忘れ物管理、団体への案内、来場者への案内

活動における問題点、課題

- **当日不足物に気付いた**
(例) チケットの売り上げ確認表や、情報宣伝物などが当日になって必要だと感じる場面が多々あった。
→事前の準備段階で情報の共有が必要。
- **みんなが何をしているか分からない時があった**
→みんなで情報共有することが必要。
- **社会のマナーがわからない時があった**
→言葉づかい、マナーを学習する必要性。

SLを通して学んだこと

- **経験の大切さ**

理由→講義などでの知識ももちろん大切であるが、現場に出て体験する・経験するということが、今までしらなかった細かいところや深いところが見えてきた。

- **社会人としての礼儀、マナー、ルール**

理由→基本的な挨拶、名刺交換、言葉遣いなどの普段の学校生活の中ではなかなか感じることはなかったけれど、社会に出るということはこれらの積み重ねだと感じた。

- **情報共有の大切さ**

理由→個人での作業が多かったため、なかなか情報共有することが難しく、改めて同じ目標を目指すためには、お互いをよく知り、何をしているか把握することが大切だと分かった。

- **責任とやりがい**

理由→実行委員ということで、とても大きな責任をそれぞれ感じてはいたが、1つ1つの仕事にやりがいを感じる事ができた。

- **成し遂げたときの達成感**

理由→大変だったということもあるが、やり終えた達成感は計り知れないものであった！

- **新しい福祉のとらえ方**

理由→利用者さんに直接的に関わり、支援していくことだけが福祉ではないということを知った。利用者さんにとって住みやすい・生きやすい環境づくりをすることも福祉だということを知った。

- **活動の本来の意味**

理由→言われてやるものではなく、自分たちで自ら計画し、実行していくものであるということを知った。

今後に学びをどう活かすか

- 官僚に頼るだけでない。
- 民間にサービスが求められている。
- 普段は普通の主婦・会社員・学生だが、空いている時間はNPO法人の活動に参加する、こういった市民としての生き方がNPOを広め、求められてくるニーズに応える所に直結するのでは。
- 自分たちに今できることは、どう広めていくか、幾通りもの方法を研究すること。
- 自ら活動に参加し、多くのことを学びながら、活動展開していくことである。

参考図書 『NPO新時代 市民性創造のために』（田中弥生著）

活動先への提案

地域住民で福祉に関わりがなかったり、関心がない人たちも巻き込んで、よりよい地域を作っていけるようにしていき、他の地域のモデルとなるようなスパイラル型の活動をしていって欲しい。

今回のNPOが集まり一つのものを作り上げる活動をずっと続けていって地域との繋がりを深めていってほしい。

次年度のSLを行う学生へ

- 中途半端な気持ちで行くべからず！
- 自分のやること、言ったことに責任を！
- 社会のマナー、礼儀を大切に！
- イベントに関わる趣旨と意味を理解する！
- ふわりについて学ぶこと！
- 自分から積極的にいく！

やる気！！！！！！